

ネット上の主観的 SES が炎上参加に与える影響

—心理的特権意識の媒介効果について—

○廉 志顕 (LIAN Zhixian)、竇 雪 (DOU Xue)

Keywords : 炎上、主観的 SES、心理的特権意識、SNS

1 目的

本研究では一般人を対象として、SNS 全般におけるネット上の主観的 SES が心理的特権意識を媒介して炎上参加に与える影響を検討する。近年、ネット炎上はますます社会問題になっており、炎上参加の心理的プロセスを解明することが重要である。炎上をある種の攻撃行動とみなせば、主観的 SES が低い人ほど炎上行動に出やすいと予測される (Greitemeyer & Sagioglou, 2016)。ただ、これまでの炎上研究の結果を見ると、どちらかといえば主観的 SES が高い人ほど炎上行動を表出しやすく (山口, 2021)、2 者の間には乖離があるといえる。こうした乖離の原因を探るため、本研究では現実の主観的 SES とは別にネット上の主観的 SES という概念を提唱する。ネット上の主観的 SES とは個人がネットという社会、もしくはネットの特定のコミュニティの社会的階層のどこに自分自身を置くかを示した概念と定義できる。筆者らが行った研究では、Twitter における炎上参加には、現実の主観的 SES よりネット上の主観的 SES の方が高い予測力を示した (廉・竇, 2021)。本研究では、Twitter 以外の SNS についても調査し、ネット上の主観的 SES と炎上参加の関係を探る。加えて、なぜネット上の主観的 SES が炎上行動を予測できるかについて、心理的特権意識という変数をモデルの中に導入し、その媒介効果について検証する。

2 方法

2022 年 9 月、WEB 調査会社を介して 18~69 歳の 367 人 (年齢 : $M=38.26$, $SD=12.06$) を対象として、オンライン質問紙調査を行った。参加者にはまずよく使う SNS を一つ思い浮かべてもらい、その後現実の主観的 SES、ネット上の主観的 SES、心理的特権意識、ネット上の心理的特権意識について回答してもらった。最後に年齢、性別、SNS 利用頻度について回答してもらった。

3 結果

単回帰分析の結果、SNS 全般において、現実の主観的 SES よりネット上の主観的 SES は炎上参加 ($\beta = .21, p < .001$)、強い口調 ($\beta = .19, p < .001$)、悪口 ($\beta = .17, p < .01$) にプラスな影響を与えることと示されていた。さらに、媒介分析を行った結果、ネット上の主観的 SES が高いほど、ネット上の心理的特権意識を媒介して炎上を参加しやすくなることと示唆された。

4 結論

先行研究と同様に、炎上行動を予測する上では、現実社会における主観的 SES だけではなく、ネットにおける主観的 SES の方がより予測力をもつことがわかった。さらに、心理的特権意識の媒介効果を注目することで人々が炎上を参加する心理的プロセスをさらに解明することができる。具体的に、ネット上の主観的 SES が高い個人は、ネット上の心理的特権意識が高くなり、他人に対する説得および他人からのコメントに反撃をしやすくなり、炎上を参加しやすくなることが示唆された。これらにより、炎上活動に限らず、ネット上の主観的 SES は今後のネット上の情報行動をより深く理解するうえで重要であると考えている。

【主要参考文献】

- 廉志顕・竇雪 (2021). ネット上の主観的 SES が炎上参加に与える影響について. 電子情報通信学会技術研究報告; 信学技報.
- 山口真一 (2020). 正義を振りかざす「極端な人」の正体 光文社.
- Adler, N. E., Epel, E. S., Castellazzo, G., & Ickovics, J. R. (2000). Relationship of subjective and objective social status with psychological and physiological functioning: Preliminary data in healthy, White women. *Health Psychology, 19*(6), 586-592.
- Campbell, K., Bonacci, A., Shelton, J., Exline, J., & Bushman, B. (2004). Psychological entitlement: Interpersonal consequences and validation. *Journal of Personality Assessment, 83*, 29-45.
- 志水裕美・清水裕士・紀ノ定保礼 (2021). 社会経済的地位と怒り表出のメカニズム: 心理的特権意識と 正当性評価の媒介効果に注目して 社会心理学研究, 36(3), 76-87.